

具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう

私たちにできること

学校では、電気や水、食料などが、家庭よりもずっと多く使われています。資源や環境^{かんげい}を大切にするために、学校で、みなさんができることはありませんか。具体的に考えて、提案する文章を書きましょう。



あなたはゴミのポイ捨てをしていますか？

6年 愛莉, 大和, 泰茄, 華愛

1. 提案のきっかけ

この前学校で子供ボランティアでゴミ拾いをしていた時、沢山のゴミが捨ててあった。あまりにもタバコが多く、危ないと思った。火がついたまま捨ててあったら燃え広がってしまい、火事の原因になってしまい、危険だと思った。テレビを見て、人間が出す大量のゴミが海を汚し、海の生き物を苦しめていると書いてあった。

注意してみると、東芳地区の周りでは沢山のゴミがポイ捨てしてあり、「ゴミを見つけても拾わない。」「汚いから拾わない。」その原因の一つは、「誰かが清掃してくれると思うから」もう一つは、ポイ捨てをすると猿、カラス、アライグマ、猫があさり、「食べ物の匂いが広がる」・「不衛生」・「町が美しくない」ということが考えられる。

以上のことから、私たちのグループでは、次のことを提案する。

2. 提案

(1)ゴミのポイ捨てをするとどうなるかわかるポスターの設置

ゴミのポイ捨てをすると「不衛生」「生き物が苦しんでいる」ことをみんなに知ってもらうために一階の昇降口にゴミのポイ捨てをするとどうなるかわかるポスターを設けることを提案する。ポスターには今のポイ捨ての現状、ゴミのポイ捨てをしないためにどのようなことをすると良いのかをまとめて貼りたい。

これは1年生から6年生までのみんなが、納得してあまりゴミを出さないよう取り組めるようにしたいという理由からだ。

具体的には、次のような内容を掲示することを考えている。

- ・ゴミのポイ捨てをした時の、環境への影響
- ・自分たちにできるゴミのポイ捨てをなくす取り組み

ゴミのポイ捨てをするとどうなるかわかるポスターの設置によって、ゴミのポイ捨てをした時の影響や、今の現状、自分たちにできること、学校みんなに理解してもらうことができる。そうすることで、みんなが日々ポイ捨てをせずゴミのポイ捨てをするとどうなるのか意識しながら過ごしてくれるようになると思う。

「水を大切に使おう」

メンバー、

阿部朱莉，武田ゆら，三瓶結翔

提案のきっかけ

最近学校で、水道の水の出しっぱなしを良く見ると、

他校で水道の出しっぱなしの事件があったので気をつけてもらいたくてこの話題になりました。

提案

①ポスターを貼る

水の出しっぱなしを防ぐために水道の近くにポスターを貼りたいと思う。

提案理由

水道近くに貼ると、みんなが見てくれると思うから。

内容

水を大切に使おうというポスターを作る

効果

水を出しっぱなしにするとこうなるということが理解でき、水の出しっぱなしを防げる。

提案②放送で呼びかける

水の無駄が、どれだけ学校に負担がかかることを伝えるために、お昼の放送で言う。

提案理由

ポスターで見ていない人も、放送で聞けばわかると思うから

内容

放送原稿を考え、一年生でもわかるように放送する

効果

みんなが放送により、注意しながら水道を使うようになる

このように2つのことを実現し、水を大切に使う東芳小学校にしていきたいです。私達は2つのことを提案します。

食品ロスを減らすために

6年 遠藤詩乃 村上志歩 遠藤結衣 小野寺悠隼

提案のきっかけ

ニュースで日本では食品ロスが問題になっているということを知った。それは学校の給食にも関係があると思った。

現状は食べ切れなかったら捨ててしまう。その原因の1つは食品に対しての当たり前食べられると考えていると思われる。ほとんどの人は食品を当たり前食べられると考えている人もいると思う。もう1つは食品ロスが問題になっていることを知らない、または問題になっていることを知っているが食品ロスがどういふことかわからない人もいると考えられる。

以上のことから、私たちのグループでは、次の3点の提案をする。

(1) 提案すること

食品ロスを減らすため、理解を深めるために、ポスターを作る事を提案する。

提案理由

たくさんの人に、食品ロスのことを知ってもらいたいから。

具体的な内容

- ・食品ロスを減らす対処法
- ・まだ食べられるけど捨ててしまうことを防ぐをテーマにした漫画を描く。

提案が実現した時の効果

食べ物の大切さがわかる

食べ物への考えが変わる

(2) 調理員さんに聞く

食品ロスについて調理員さんたちはどんな取り組みをしているのかを知るために調理員さんに聞くことを提案します。

どこかの国には食べ物がないため食べれないのに、私たちは食品を残してしまっているのもうたになってしまいます。

食品をロスしないようにしたいという理由です。

具体的な内容は

- ・調理員さんに聞き、放送で発表する
- ・集会や給食学習会、交流会を開く
- ・学校以外の家などでできることを伝える
- ・調理員さんたちに聞くことによって食品ロスへの取り組みがわかるようにする
- ・自分たちにできることをみんなに理解してもらい、考えてもらうことができる。

このようなことをすることで、食品ロスの影響、みんなに食品ロスを減らすことを意識してもらえ、今の現状を知った上で過ごしてくれるようになると思う。

(3) 食品ロスの集会を開く

食品ロスを知ってもらったり、食品ロスに興味をもってもらうために、食品ロスの集会を開くことを提案する。この集会では全員食品ロスについて自分の考えをもち、友達と自分の考えを伝え合えるようにしたい。

これは、全校生一人一人が少しでも食品ロスを減らそうと考えて、食品ロスについて取り組んでもらう理由からだ。

具体的には次のような内容を集会でやろうと考えている。

- ・食品ロスとは何かを知ってもらい(もっと知りたいと思うような発表をする。例えば分かりやすい面白い劇をやる。)
- ・食品ロスについて自分達にできそうな事を周りの人と相談したりして考えてもらう
- ・いくつかのグループに自分達にできる事を発表してもらう

食品ロスの集会を開く事によって、食品ロスとは何かをわかってもらえ、自分達にできる事を全校生一人一人に考えてもらえる。そうする事で、食品への考えが変わり食品ロスも少なくなっていくと考える。

食品ロスを減らす学校へ

6年 阿久津右京, 吾妻燎輝, 高橋百花, 古澤瑠華

1. 提案のきっかけ

食品ロスに関することを調べてみると学校の給食では、食べ残しが最も大きな原因となっていると思う。学校では年間17.2kgの食品ロスが生じている。その内訳で食べ残しは7.1kgであり、全体の約7割を占めていた。

注意して見てみると、東芳小学校では上学年はあまり残していなくても下学年は残しているクラスが多かった。その原因の1つは今の学校の問題点を知らないから問題点もわからないと考えられる。もう1つはどうやって実践したらいいか分からなくて困っていると思うということが考えられる。

以上のことから、私たちのグループでは、次の2点の提案をする。

2. 提案

(1)今の東芳小学校の現状を知る

今の学校の現状を知るために、各クラスにアンケートを配り、問題点を知ってもらうことを提案する。このアンケートは全校生が必ず通る2階の辺りに円グラフで表して掲示したい。

これは、全校生。特に下学年の全員が現状を知り、自分たちで考えて食べ残しを減らす取り組みをして欲しいという理由からだ。

- 自分たちのクラスの食べ残しは多いと思うか？
- 学校全体でみた食べ残しは多いと思うか？

というアンケートの内容を配ることを考えている。

アンケートを取り、円グラフで表すことによってクラスごとに感じていることを分かりやすく知ってもらうことが出来る。そうすることで、みんなが食べ残しを減らすことを意識して過ごしてくれるようになると思う。

(2)実践して欲しいこと

実践して欲しいことが具体的にが分からない人が多いと思う。だから給食の先生たちにインタビューをして実践して欲しいことを放送で流すことを提案する。

これは、全校生。特に下学年の全員が具体的な内容が分かり納得して実践に取り組めるようにしたいという理由からだ。

具体的には次のようなインタビューをする内容でお聞きしたいと考えている。

- 今の東芳小学校の現状
- 食べ残しを減らすために学校で実践して欲しいこと

インタビューをしてその内容を放送で流すことによって、具体的に何を実践したら良いかを学校のみんなに理解してもらうことが出来る。そうすることで、みんなが日々聞いた実践を行って過ごしてくれるようになると思う。

まとめ

この提案が、東芳小学校での食べ残しを減らすことにつながればと思う。

